

あらの会長の二言三言

世界に冠たる平和憲法を守ろう！ 安倍政権打倒へ、闘いの輪を広げていこう！



安倍政権は、もり・かけ問題、自衛隊日報発覚、セクハラ問題など次から次へと不祥事が発生し、末期的症状の状態となっています。

歴代総理のなかで、安倍政権は極悪、最低です。安倍は、ただたんなる保守主義者ではなく、戦前の軍国主義復活を狙っている極右そのものです。

一般の国民のわずかな税金でも滞納は許されませんが、森友学園の国有財産を8億円以上も値下げして、ただ同然の金額で払い下げています。まさに犯罪行為であり、

安倍首相夫人の関与に関する文語などが公文章から削除し、事実の隠蔽をはかり、隠ぺいに加担させられた官僚の一人は悩んで自殺しています。

加計学園の問題も同様であり、安倍、そして安倍の意をくんでの官邸の関与があったことは明らかです。安倍や麻生にとっては、権力を握ったら国家を私物化するのはあたり前だと思っているようです。

今国会を「働き方改革国会」と位置づけ、「高度プロフェッショナル制度の創設」「裁量労働制の拡充」など残業代を支払わない、あわせて過労死ラインの残業を合法化するなど、まやかしの「働き方改革」法案の成立を強行しようとしています。

安倍は、「裁量労働制」の労働者は、一般の労働者より残業時間が少ないとした調査資料を提示して、国会で説明しましたが、なんと資料のデーターを捏造し、ごまかしていたことが判明し、結果的には、「裁量労働制の拡大策（残業代ゼロ制度）」については、今国会では除いたものの、安倍政権の国民を騙す手口は、あまりにもひどいものです。

安倍は、「同一労働同一賃金」を実現するとしていましたが、実際には、今回の法案には、まったく記載されていません。逆に賃金の格差を容認する状態となっていて、しかも非正規差別を固定化するものとなっています。

労働者の生活を守るのではなく、使用者の利益のための法律へと「大改悪」されようとしています。先人が血と汗で勝ち取ってきた8時間労働制を守り、長時間労働を撲滅し、人間らしく生きていくために、すべての労働者が怒りの声をあげて、安倍が押し進める労働法制改悪を断固阻止し、労働者のための本物の「働き方改革」を実現していきましょう！

安倍は、戦争法（安保関連法制）、共謀罪法を強行に成立させていますが、こんどは憲法の改悪を本格的に意図しています。

平和憲法によって、戦後、民主主義が確立されて、平和でかつ経済も社会も発展させてきました。しかし安倍は、歴史を逆戻りさせ、戦前の軍国主義時代にもどそうとするものです。国民の総力で安倍政権を打倒し、平和憲法を守り、国民主権の民主主義を確立させていこう！